

「人と空間」

第30回 MASセミナー

～年間テーマ：建築の祖型を考える～

世

不思議なことだが、有名建築雑誌で「人」のいない写真がある。建築デザインやコンセプトの明確化ために人影の存在を消去しているのだが、本来、建築は「人」のためにあると考えると、はなはだ疑問が残る。建築は「人に寄り添う」ことから始まるのである。住宅では、そこで暮らす人の話を聞くとところから発想が開けてくる。手塚貴晴氏の「屋根の家」は、クライアントが語った屋根の上の出来事に建築家が焦点を絞り研ぎ澄ました作品で、クライアントの言葉がなければ生まれなかった。象設計集団の「笠原小学校」では、子供に寄り添うことからたくましい子どもを育てる自由な空間が生まれた。ひとりしか入れない隠れ家、二人で向き合う腰掛など、教室以外の場所に子どもの居場所が無数にある。だから子供が自分で好きな場を選びのびのび育つことで強いところとからだを生み出す。

建築家という職能は、人に寄り添うことで独自の空間をつくり暮らしを豊かにする職能である。人と向き合うこと、自然と向き合うことから空間は生まれるとすると、あなたは誰のことを考え、空間をつくるのか。その対象となる人と建築を語る会にしたい。

(宮田多津夫)

■ 日時： 2019年3月23日(土)

■ セミナー： 14:00～16:00 (受付: 13:30～)

■ 懇親会： 16:00～17:30 (ワイン・つまみ付)

■ 参加費 セミナー無料／懇親会 500円

■ 場所： 渋谷区神宮前2-3-18 JIA館 1F 建築家クラブ
(地図参照。環状4号線側からは2階になります。)



【お問合せ・申込み】

TEL：03-5545-5936

MAIL：info@t-taguchi.com

(MAS担当 田口設計事務所)

【JIA 港地域会ホームページ】

www.jia-minato.jp



MASセミナーは、日本建築家協会(JIA)港地域会の建築家たちと市民の方で語りあえるひとときを提供しています。年間テーマから導かれる各回のお題に対して、私たち其々の想いを語り、会場にこられた方のご意見もいただく双方向の会となっています。

昨年までは「みんなで考える町と建築の未来」と題して回を重ねてきましたが、今年度からのテーマは「建築の祖型を考える」としました。これは宗教学者のミルチャ・エリアーデの言葉で、超越的な起源をもちこの世の初めに啓示された慣例の規範と行動の規範ということです。

人と人を関係させる建築のあり方、建築の原点に想いを馳せていきたいと考えております。

主催:日本建築家協会(JIA) 関東甲信越支部港地域会 (代表 村上晶子)

